

広報 わっかない

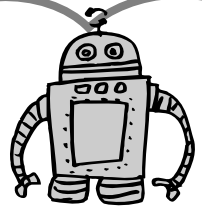


編集発行
稚内市総務部財政契約課財政・統計グループ
〒097-8686 北海道稚内市中央3丁目13番15号
代表 ☎ (0162) 23-6161 直通 ☎ (0162) 23-6390

[市ホームページ] www.city.wakkanai.hokkaido.jp

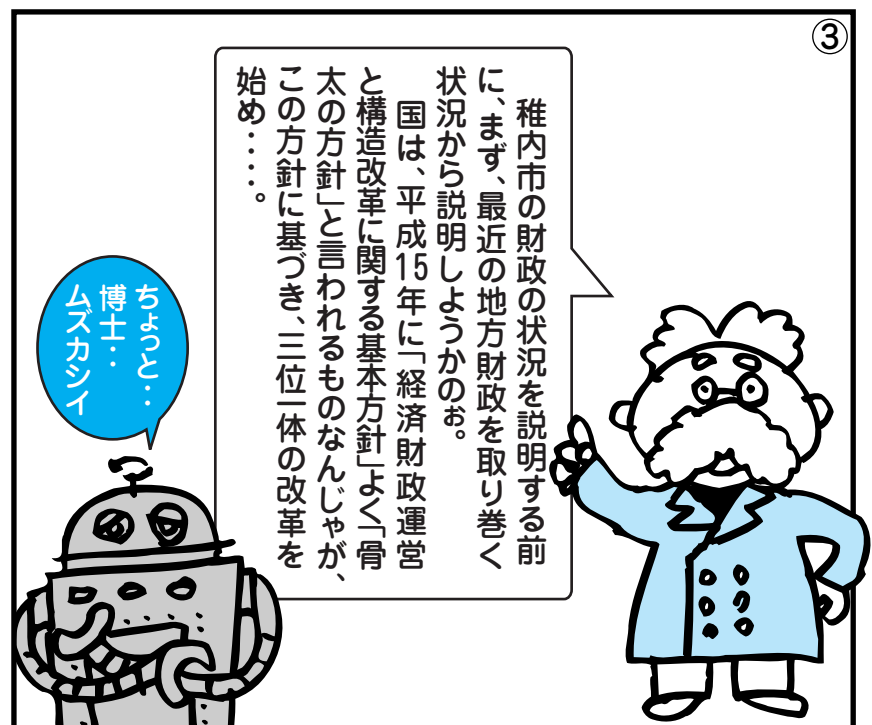
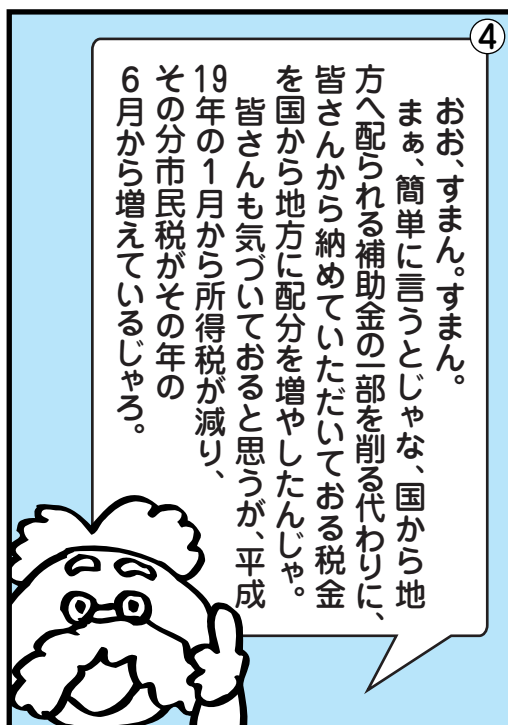
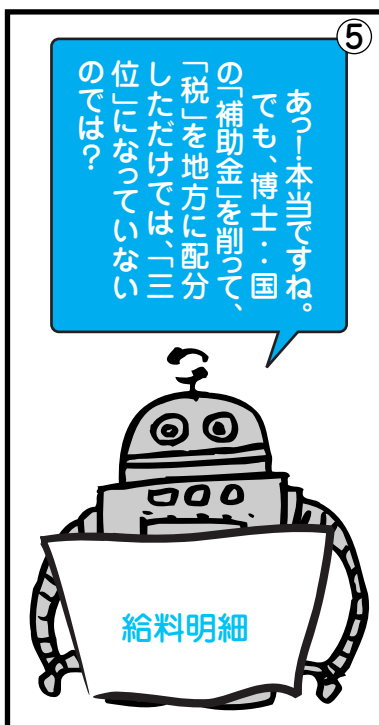
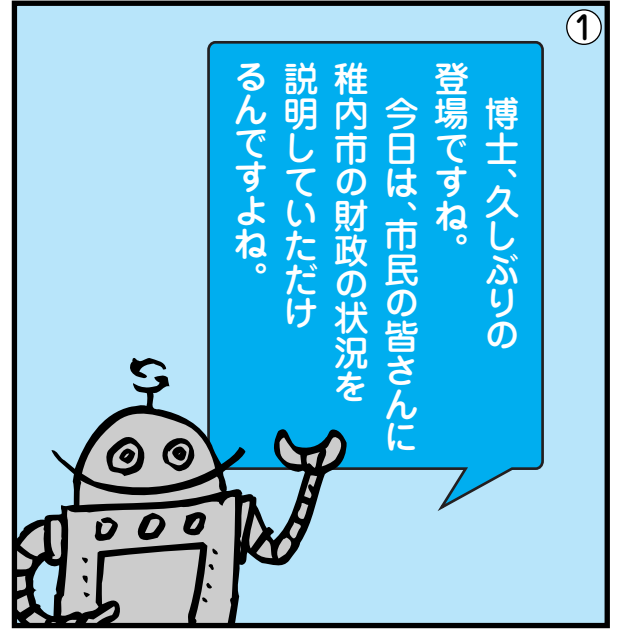
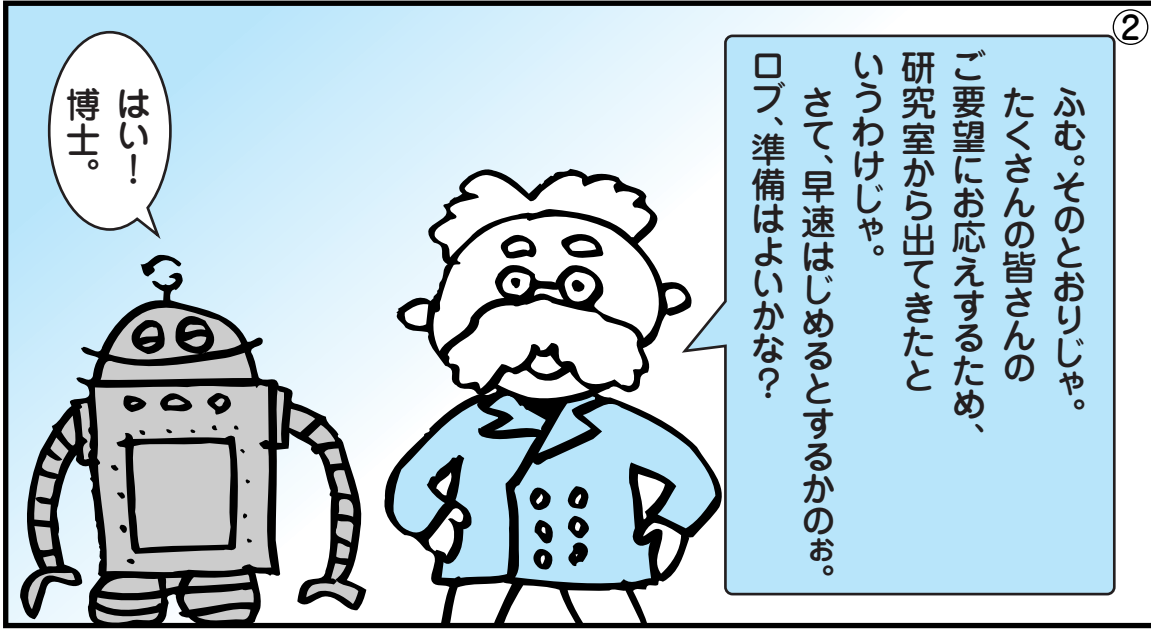


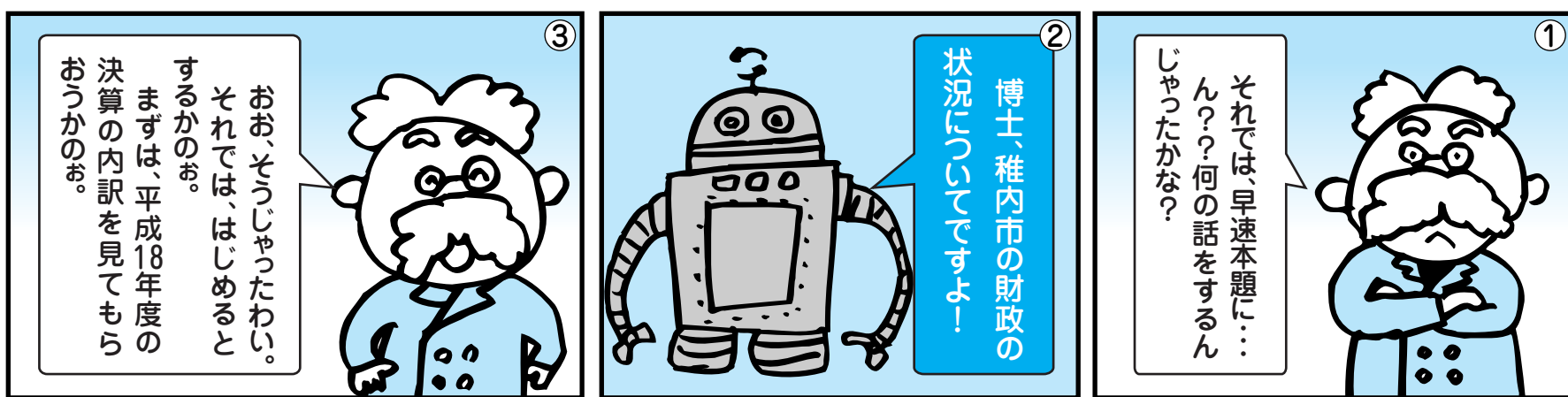
博士



ロボ

と の 財政特集号



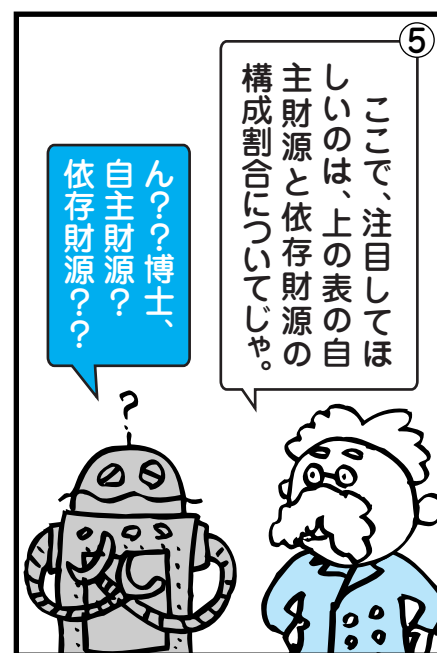
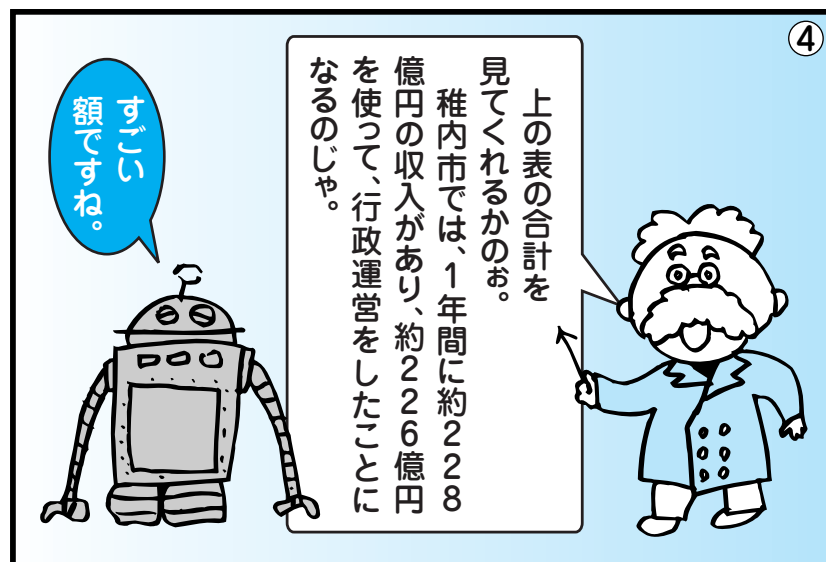


一般会計(歳入)

区 分	決 算 額	構成比(%)
自 主 財 源		
市 税	45億4,232万円	20.0
分担金及び負担金	1億1,813万円	0.5
使用料及び手数料	5億7,581万円	2.5
財 産 収 入	1億4,696万円	0.6
寄 附 金	440万円	0.0
繰 入 金	9億5,529万円	4.2
繰 越 金	1億7,916万円	0.8
諸 収 入	27億6,682万円	12.2
自 主 財 源 計	92億8,889万円	40.8
依 存 財 源		
地方譲与税	6億9,447万円	3.1
利子割交付金	1,813万円	0.1
配当割交付金	994万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	733万円	0.0
地方消費税交付金	5億1,022万円	2.2
ゴルフ場利用税交付金	708万円	0.0
自動車取得税交付金	1億 866万円	0.5
国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,430万円	0.1
地方特例交付金	1億 447万円	0.5
地方交付税	75億8,346万円	33.3
交通安全対策特別交付金	955万円	0.0
国庫支出金	16億8,643万円	7.4
道 支 出 金	8億 812万円	3.6
市 債	19億1,250万円	8.4
依 存 財 源 計	134億7,466万円	59.2
合 計	227億6,355万円	100.0

一般会計(歳出)

区 分	決 算 額	構成比(%)
議 会 費	1億4,994万円	0.7
総 務 費	13億6,178万円	6.0
民 生 費	40億7,438万円	18.0
衛 生 費	18億3,000万円	8.1
労 働 費	3,963万円	0.2
農 林 水 産 業 費	15億8,847万円	7.0
商 工 費	14億2,934万円	6.3
土 木 費	25億 963万円	11.1
消 防 費	6億7,142万円	3.0
教 育 費	16億8,080万円	7.4
公 債 費	34億7,602万円	15.4
諸 支 出 金	2億 円	0.9
職 員 費	36億1,053万円	15.9
合 計	226億2,194万円	100.0



歳入一人当たり 556,825円



市税 111,146円 (10番目) 全道市平均値 103,835円 全道市最大値(苫小牧市) 155,165円 全道市最小値(歌志内市) 49,824円	地方譲与税・各種交付金 35,966円 (4番目) 全道市平均値 30,775円 全道市最大値(土別市) 40,319円 全道市最小値(江別市) 24,295円	地方交付税 185,560円 (15番目) 全道市平均値 171,716円 全道市最大値(歌志内市) 510,435円 全道市最小値(苫小牧市) 35,095円	分担金・負担金 2,878円 (17番目) 全道市平均値 6,174円 全道市最大値(歌志内市) 83,572円 全道市最小値(千歳市) 289円	使用料・手数料 16,168円 (13番目) 全道市平均値 17,762円 全道市最大値(歌志内市) 84,091円 全道市最小値(北広島市) 6,014円
国庫支出金 41,566円 (26番目) 全道市平均値 57,537円 全道市最大値(赤平市) 104,567円 全道市最小値(石狩市) 26,904円	道支出金 19,823円 (17番目) 全道市平均値 25,817円 全道市最大値(歌志内市) 165,564円 全道市最小値(札幌市) 9,641円	財産収入 3,752円 (16番目) 全道市平均値 9,053円 全道市最大値(歌志内市) 203,007円 全道市最小値(室蘭市) 465円	地方債 46,797円 (16番目) 全道市平均値 52,058円 全道市最大値(深川市) 176,599円 全道市最小値(江別市) 14,954円	その他 93,169円 (9番目) 全道市平均値 70,740円 全道市最大値(千歳市) 173,529円 全道市最小値(北広島市) 15,506円

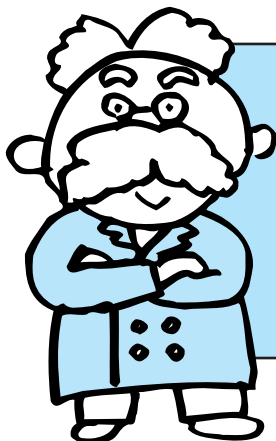
歳出一人当たり 553,361円



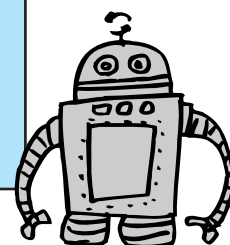
議会費 5,074円 (16番目) 全道市平均値 5,022円 全道市最大値(歌志内市) 14,871円 全道市最小値(札幌市) 946円	総務費 78,105円 (7番目) 全道市平均値 56,043円 全道市最大値(三笠市) 153,778円 全道市最小値(札幌市) 27,166円	民生費 113,738円 (24番目) 全道市平均値 131,827円 全道市最大値(歌志内市) 318,265円 全道市最小値(千歳市) 86,820円	衛生費 50,003円 (12番目) 全道市平均値 43,001円 全道市最大値(美幌市) 98,120円 全道市最小値(北広島市) 20,934円	労働費 1,905円 (9番目) 全道市平均値 1,675円 全道市最大値(北見市) 12,060円 全道市最小値(岩見沢市) 238円
農林水産業費 42,068円 (5番目) 全道市平均値 22,489円 全道市最大値(深川市) 177,620円 全道市最小値(歌志内市) 541円	商工費 40,084円 (4番目) 全道市平均値 27,326円 全道市最大値(歌志内市) 267,725円 全道市最小値(北斗市) 3,149円	土木費 63,889円 (26番目) 全道市平均値 95,684円 全道市最大値(千歳市) 222,755円 全道市最小値(北広島市) 38,936円	消防費 16,429円 (19番目) 全道市平均値 17,533円 全道市最大値(歌志内市) 35,208円 全道市最小値(江別市) 8,684円	教育費 57,011円 (4番目) 全道市平均値 45,478円 全道市最大値(土別市) 99,967円 全道市最小値(小樽市) 22,997円
公債費 85,055円 (12番目) 全道市平均値 92,646円 全道市最大値(歌志内市) 502,697円 全道市最小値(北広島市) 36,909円	<div style="text-align: center;"> 一人当たり 3,464円 を平成19年度へ繰越 ※全道市平均値には、現在、財政再建団体の指定を受けている夕張市を含めておりません。 </div>			



このように、市民の皆さん一人当たりで説明すると、市税や施設の使用料、保育料などで22万7千円を納めていただき、国や北海道からの交付税や補助金が28万3千円入ってきて、行政運営のための借金である地方債を4万7千円借りて、これらの収入55万7千円の中から、住民の福祉向上や教育の充実のための事業で55万3千円を支出して、4千円が残ったということになるのじゃ。



このグラフは、
稚内市の平成10
年度の数値を
100としたと
きの平成18年度
との比較じゃ。



歳入

平成10年度決算	100
市税	49億1,918万円
地方交付税	97億2,794万円
使用料・手数料	8億3,369万円
地方債	22億2,950万円
その他収入	102億4,012万円

平成18年度決算		
市税	92	45億4,232万円
地方交付税	78	75億8,346万円
使用料・手数料	79	6億6,073万円
地方債	86	19億1,250万円
その他収入	79	80億5,733万円

歳出

平成10年度決算	100
義務的経費	103億584万円
うち人件費	42億7,926万円
うち扶助費	23億4,226万円
うち公債費	36億8,432万円
投資的経費	65億1,145万円
その他経費	106億5,718万円
うち他会計繰出	20億1,426万円

平成18年度決算		
義務的経費	95	97億4,828万円
うち人件費	85	36億2,216万円
うち扶助費	113	26億5,010万円
うち公債費	94	34億7,602万円
投資的経費	46	29億9,876万円
その他経費	93	98億6,771万円
うち他会計繰出	127	25億5,869万円

② そうじゃ、市税については、人口の減少や景気の低迷、地方交付税は、三位一体の改革の影響を受けたことによる減少じゃ。この収入の減少に合わせて、様々な経費を削減してきたというのが、上のグラフじゃ。

平成10年度と平成18年度を比較してもらうとわかると思うが、稚内市では、退職者の2分の1不補充による職員数の減や給料カットにより人件費を削減し、地方債の借入を減らすことによって、その元利償還金である公債費を減らし、建設事業などの見直しを行なうことによって投資的経費を抑えてきているのじゃ。

① 収入はすべての項目で少なくなっているんですね。

⑤ 増えているところは、とても大事な経費なんですね。

④ そうじゃな。扶助費と呼ばれる経費、すなわち高齢者の方などへの社会保障費が膨らんできている。これは、稚内市に限らず全国的にこのように伸びてきているおるんじゃ。

それにじゃ、稚内市には、病院や下水道、国民健康保険や介護保険など、一般会計とは別の会計を設けておつてのお、それらの会計は、市民の皆さんにとって欠くことの出来ない事業を行なっているんじゃが、その事業に対する支援として、他会計繰出といったものを支出しておる。

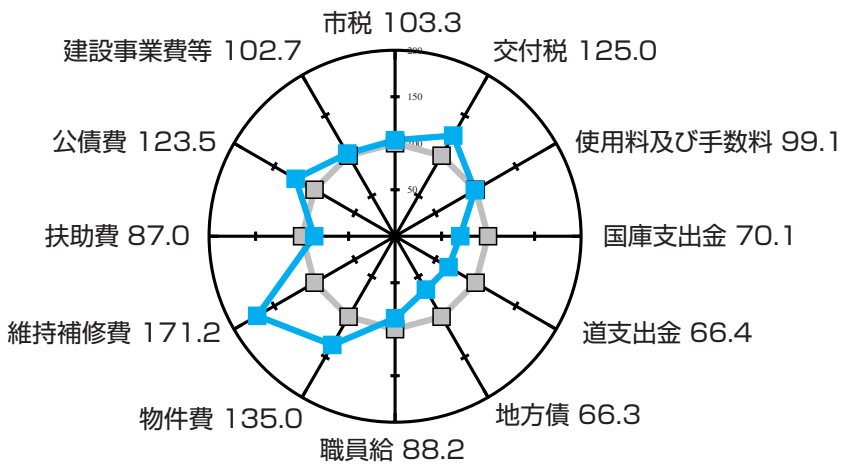
その繰出しに対する経費が膨らんできているおるんじゃ。

③ 博士、増えているところもあるようにですが…？

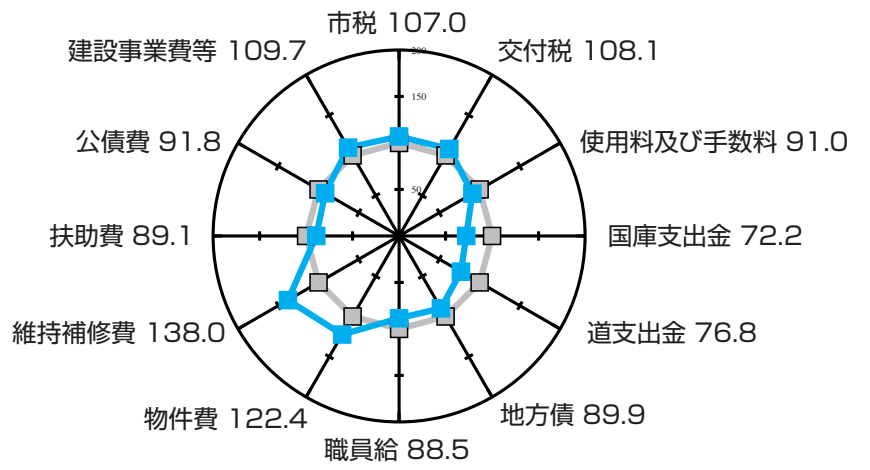
北海道各市との比較

■ 全道平均
■ 稚内市

平成10年度決算



平成18年度決算



③

そして、国庫支出金、道支出金じゃが、扶助費も関係して〜のため、一緒に説明するぞ。まず扶助費じゃが、稚内市の場合、高齢者の方が全道各市と比べると少ないため、平均を下回っておる。

②

次に、使用料及び手数料を見ると、平成10年度には平均をわずかに下回っておったが、平成18年度ではさらに下回っておる。これは、稚内市の使用料や手数料の単価が各市と比較して低いことや施設の利用率の減などが考えられるのお。

①

この表は、稚内市民一人当たりがどれだけの収入と支出があるのかを北海道各市の平均と比較した表じゃ。

では、順番に説明していくぞ。まず、収入からじゃが、市税は、平均より少しだけ多くなっておる。つまり、きちんと税を納めている人が多いということじゃな。

⑤

なるほど。じゃあ、物件費と維持補修費が平均を大きく上回っているのは、なぜなんですか？

次に、職員給じゃが、これも平均を下回っておる。

④

博士、それは意外ですね。

そうなのじゃ。その扶助費に対する国庫支出金や道支出金も平均を下回っておる〜んじや。

⑦

では博士、道内各市と比較して稚内市の財政状況はどうなんですか？

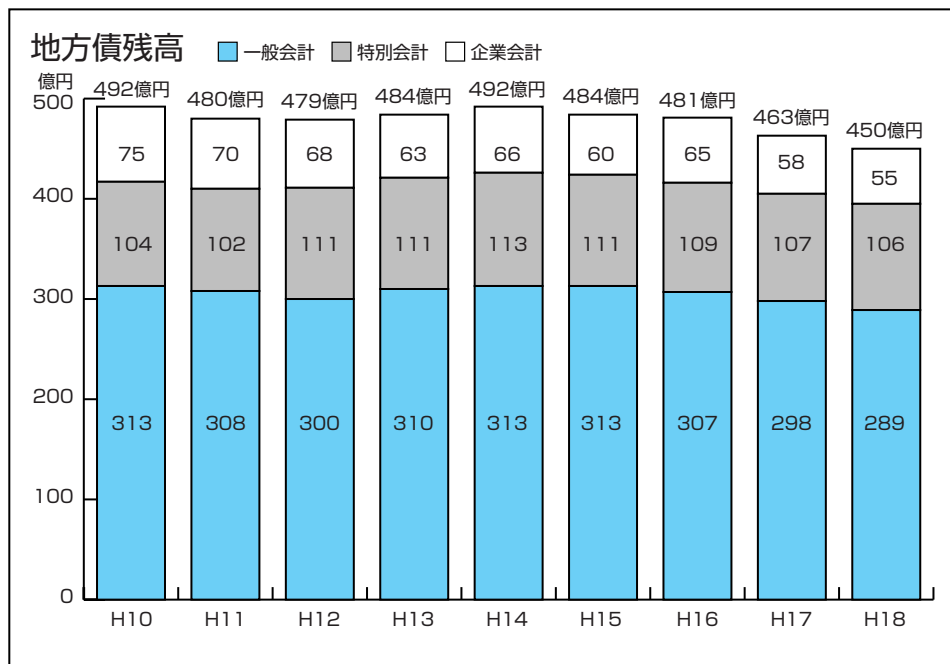
地方債については、あとで説明することにして、まず、公債費というのは、借金を返すお金のことじゃ。平成10年度は、平均を大幅に上回っておったが、平成18年度では下回っておる。これは、計画的な返済をおこなってきたことによるものじゃ。

⑥

これはのお、稚内市の各施設を管理する経費や、施設を直すための経費じゃ。物件費には各施設を管理する委託料が含まれているため、施設管理の民間委託が進んでいるとともに、地理的条件から施設が多いので、維持するための経費が多い〜んじや。

わかりました。じゃあ、最後に地方債と公債費について教えてください。

そうじゃのお。簡単には言えんのお。今、北海道は景気が悪くどこの市も財政状況は良いとは言い切れないからのお。だから、稚内市が平均より良い所があっても決して安心せずにさらに努力が必要なのじゃ。



① 博士、地方債ってなんでしたっけ？

次は、地方債の説明じゃ！

② ロブ!! 地方債と... 借入金だとして説明したはずじゃ。

例えば、建設事業などの大きな事業を進めるときに、その年の収入でその費用をまかないきれない場合に、地方債を借りて事業を行っておるのじゃ。

また、地方債は、その事業を行う年度の負担を軽くすることはもちろんじゃが、現在税金を納めている人だけじゃなく、将来にわたってその施設を利用する人たちへも平等に費用を負担してもらえるんじゃ。

④ とのことじゃ、実際に市民の皆さんが負担する借金の額は、166億円ということになるんですね。

そうじゃ、なるかの。

③ でも、毎年地方債を借り続けると、借金がますます増えるのでは？

ふむ、地方債を借ると毎年元金と利息を返していくことになるんじゃが、稚内市の場合は、毎年返済する元金を上回って地方債を借りないように努力してきたため、地方債の残高は徐々に減ってきておるのじゃ。さらにこれまで地方債を借りるときには、毎年返済する元金と利息を地方交付税で補ってんじや。

地方債は、稚内市全体で平成10年度には、492億円あったんじゃが、現在は450億円となっておる。

病院と水道の企業会計は、料金収入があるので、これで地方債を返していることになる。

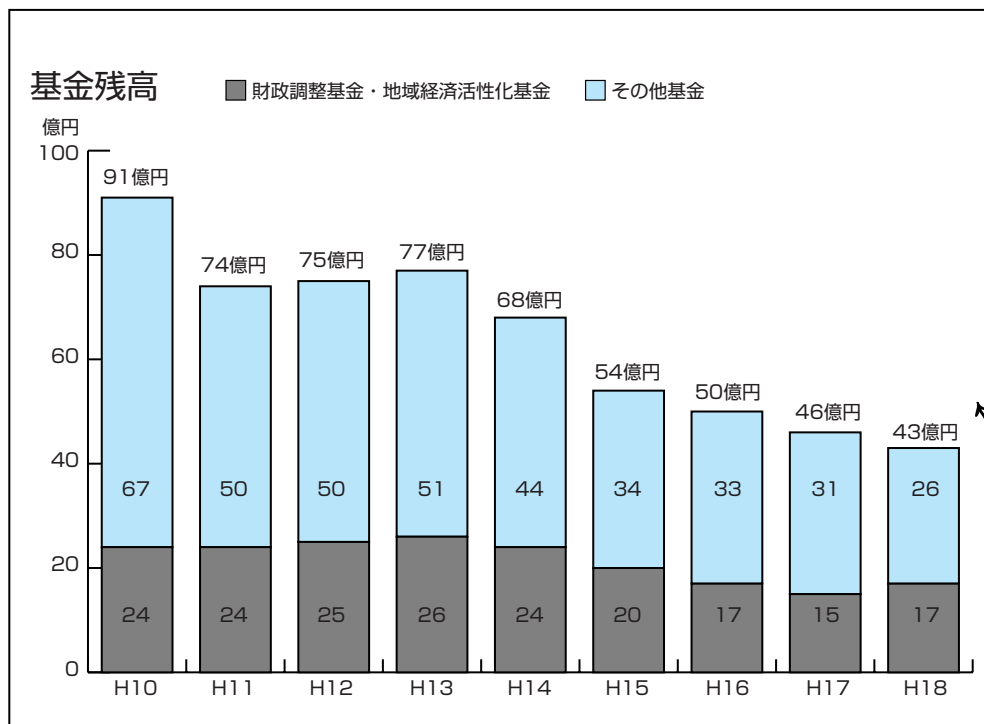
したがって、一般会計と下水道などの特別会計を合わせた残高は、395億円となっておるが、このうち、地方交付税で補ってんされるのは、およそ229億円あるのじゃ。

⑥ よく財政状況を家計に置きかえたりするが、その例でいう「基金」は「貯金」なのじゃ。

例えば、家計の中では、家などの大きな買い物をするためや将来に備えて貯金をして、そして将来その目的にあった使い方をするためにお金を下ろすじゃろ？

⑤ 次は「基金」の説明じゃ。「基金」とは、ある目的のために財産を維持したり、積み立てたり、運用したりするものなんじゃ。

ん？



⑦ グラフを見ると残高がどんどん減ってきていますね、博士。

そうなんじゃ。

平成18年度末では基金残高が43億円となっておる。

平成10年度からみると半分以下じゃのう。

これは前にも説明したが、三位一体の改革で地方交付税が大幅に減らされたことから、基金を少しずつ取り崩して行政を運営してきたからじゃ。

これからは将来に向けて少しでも基金を使わないような努力が必要なんじゃ。

⑧ では博士、どんな努力をしているの？

①

実はな、ロボ。稚内市は以前に財政が破綻し、一度、今の夕張市みたいな「財政再建団体」になったことがあるんじゃない。

それは、昭和31年から39年のことじゃった。

「財政再建団体」!?

②

「財政再建団体」は会社でいうと破産みたいなもので、自前で何もすることはできないのじゃ。何をすることも国の許可が必要で、道路を作ることや物の修理や買うこともできなかったし、住んでいる人たちに負担や不便をかけたのじゃ。

大変厳しい時代じゃった。

しかし、9年間がかりで再建団体から抜け出したのじゃ。この教訓を生かし、いつも財政を健全におこななければならぬのじゃ。

③

それじゃ稚内市は、財政の健全化のため、どんなことをしているの?

④

そうじゃのお。今までも簡素で効率的な市役所づくりや住民サービスの向上に取り組んできたんじゃが、これからの社会情勢の変化や市民の皆さんの要望(ニーズ)にきちっと対応していくために、しっかりとした財政運営をするための「財政健全化プラン」を作ったのじゃ。

⑤

博士、このプランでどんなことをするの?

⑥

うむ。まず支出を減らすため、このプラン開始前から、職員数を減らしておつての、これまでに100人以上の職員が減ったのじゃ。

また、職員給与全般の見直しをはじめ、市が管理している施設の廃止や民間委託などを進め、さらに削減するように努力しておるのじゃ。

⑦

一方、収入についてじゃが、市のもっている土地の売却を積極的に進めていることや市のホームページへの有料広告の募集など収入を増やす取り組みをしておるのじゃ。

また税金や使用料等を着実に集める徴収専門部署をつくり、収入の確保にもあたっておる。

⑧

稚内市も財政の健全化を維持するために色々な事をしているんですね。

⑨

そうなのじゃ、この「財政健全化プラン」では、まだまだ多くの取り組みを計画しておる。「財政再建団体」にならないためにも、このプランに沿ってしっかりと着実に財政運営をすることが必要なんじゃ。

